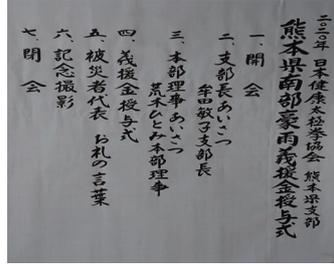


# 2020年熊本県南部豪雨義援金授与式



2020年7月4日に発生した集中豪雨による球磨川流域の氾濫で、人吉、球磨、葦北、八代坂本が広範囲にわたり甚大な被害に見舞われました。

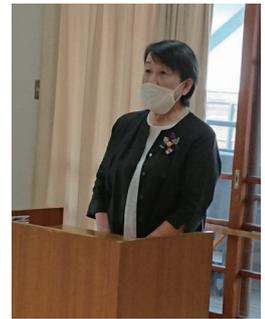
コロナ禍の中、ボランティア確保も難しく、被害にあった家屋の片付けも遅々として進まず、被災者は心身ともに疲弊しているとメディアは報道しています。熊本県支部では被災にあった太極拳同学に支援をしていくことを理事役員会で決定し、熊本県下全教室に募金のお願いをしました。



9月26日（土）10時30分、「山江ほたる温泉」にて授与式を行いました。会場には被災地講師7名、教室生徒の有志7名が集合。熊本県支部より支部長、本部理事以下8名が参加しました。江藤律子副支部長の司会で進行しました。

## 牟田支部長挨拶

熊本地震で開催できなかった支部大会を、この人吉の地で開催できたことは、太極拳を通して同心協力の賜物です。これからも被災者に寄り添い、太極拳ができる環境を早く取り戻せることを願います。



## 荒木本部理事挨拶

楊進理事長、楊慧副理事長よりお見舞いのお言葉を頂いています。被災地の事を思うと心が落ち込みます。教室講師に支援を呼びかけ、たくさんの方々からの支援を頂きました。人は命さえあれば再生できる。太極拳を信じて、これからも一緒に心を添わせて進んでいきましょう。



## 授与式

人吉（倉原クニ子、徳澄恵子、東千津子、中村高見、井上要各講師）  
八代坂本（谷口洋子講師）  
葦北（坂口俊司講師）に牟田支部長より義援金の授与が行われました。





被災者代表 山口律子さんよりお礼の言葉を頂きました。

※最終ページに文面あり



荒木本部理事より県外から義援金、物資の支援が届いたことの報告があり、授与式出席の皆さんにその場で配布されました。



永島静子副支部長より閉会の挨拶

## 全員で立禅、甩手、八段錦、24式太極拳



「3ヶ月太極拳をやっていないので、今日は皆で演舞が出来てとても嬉しい」との言葉を頂きました。

# がんばれ、負けんばい！人吉、球磨村、葦北、八代坂本の皆さん



